

## 10 専攻科目

### (露地野菜専攻)

95	露地野菜栽培概論	(1年)
96	露地野菜栽培各論	(2年)
97	露地野菜機械施設	(1年)
98	露地野菜機械施設利用演習	(1年)
99	露地野菜先端技術演習	(2年)
100	露地野菜病虫害対策演習	(2年)
101	露地野菜加工演習	(2年)
102	青果物流通論	(2年)
103	専攻実習	(1年)
104	専攻実習	(2年)

整理番号： 95

科目名： 露地野菜栽培概論

科目群	専攻科目	必選区分	必須	単位	1	指導形態	講義
対象学年	1年	課程名	園芸農産課程	専攻名	露地野菜専攻		
実務経験のある教員による授業科目又は主として実践的教育から構成される授業科目の適否							適

担当講師		
講師名	実務経験の有無	実務経験内容
荒井俊介	有	普及指導員3年、農業総合試験場職員3年経験
則竹伸哉	有	普及指導員11年経験

授業の目的及び内容	露地野菜栽培に必要な基本的な知識を習得する。
授業の方法	テキストに基づく講義及び専攻実習における実践的な技能の習得を図る。
到達目標	露地野菜栽培に必要な基礎的知識及び基本的な技術を習得し、自ら栽培計画を作成することができる。

区分	書名	著者・編集者名	出版社名			
教科書	新版野菜栽培の基礎	池田英男・川城英夫	農山漁村文化協会			
参考文献						
その他教材						
成績評価の方法・基準	筆記試験100%で評価。					
試験の有無	定期試験	有	追試験	有	再試験	有

授業計画		
回数	内容	時間
1	野菜の種類と分類	2
2	露地野菜における主要作業の目的と効果	2
3	野菜の生理障害の発生原因と対策	2
4	畑地雑草の種類と防除対策	2
5	県内露地野菜の動向	2
6	畑地土壌の管理方法と施肥技術	2
7	栽培計画書の作成	2
8	考查試験	1
合計		15

整理番号： 96

科目名： 露地野菜栽培各論

科目群	専攻科目	必選区分	必須	単位	1	指導形態	講義
対象学年	2年	課程名	園芸農産課程	専攻名	露地野菜専攻		
実務経験のある教員による授業科目又は主として実践的教育から構成される授業科目の適否							適

担当講師		
講師名	実務経験の有無	実務経験内容
荒井俊介	有	普及指導員3年、農業総合試験場職員3年経験
則竹伸哉	有	普及指導員11年経験

授業の目的及び内容	県内の主要露地野菜について、は種から収穫まで専門的知識の習得を図り、栽培計画と栽培管理能力を養成する。
授業の方法	栽培テキスト、その他教育教材に基づく講義及び専攻実習における実践的な技能の習得を図る。
到達目標	露地野菜の主要品目について、自らが栽培計画を立て、実際に栽培することができる。

区分	書名	著者・編集者名	出版社名			
教科書	新版野菜栽培の基礎	池田英男・川城英夫	農山漁村文化協会			
参考文献						
その他教材	農業あいち別冊 温故知菜	愛知県各農業改良普及課野菜担当職員・普及指導部広域指導員	愛知農業普及協会			
成績評価の方法・基準	筆記試験100%で評価。					
試験の有無	定期試験	有	追試験	有	再試験	有

授業計画		
回数	内容	時間
1	スイートコーン・タマネギ栽培	2
2	野菜栽培の現況と育苗技術	2
3	露地ナス・キュウリ栽培	2
4	夏秋野菜（オクラ、サトイモ、ゴーヤー等）の栽培	2
5	ブロッコリー・カリフラワー栽培	2
6	キャベツ・ハクサイ・ダイコン栽培	2
7	レタス・ニンジン・イチゴ栽培	2
8	栽培報告書の作成	1
合計		15

整理番号： 97

科目名： 露地野菜機械施設

科目群	専攻科目	必選区分	必須	単位	1	指導形態	講義
対象学年	1年	課程名	園芸農産課程	専攻名	露地野菜専攻		
実務経験のある教員による授業科目又は主として実践的教育から構成される授業科目の適否							適

担当講師		
講師名	実務経験の有無	実務経験内容
荒井俊介	有	普及指導員3年、農業総合試験場職員3年経験
則竹伸哉	有	普及指導員11年経験

授業の目的及び内容	露地野菜で利用する農業機械の種類及び装置について、基礎知識と操作方法を学習する。
授業の方法	農業機械取扱講義と専攻実習における実践的な技能を習得する。
到達目標	露地野菜栽培に必要な農業機械の基本的な知識と操作方法を習得する。

区分	書名	著者・編集者名	出版社名			
教科書						
参考文献						
その他教材	農業機械取扱注意点資料	担い手研修科配布資料				
成績評価の方法・基準	筆記試験100%で評価。					
試験の有無	定期試験	有	追試験	有	再試験	有

授業計画		
回数	内容	時間
1	野菜栽培で使用する大型農業機械と注意点	2
2	野菜栽培で使用する小型農業機械と注意点	2
3	育苗施設の使用方法和留意点	2
4	収穫調製用機械と使用方法	2
5	マルチ・トンネル栽培技術	2
6	イチゴ高設養液栽培の管理技術	2
7	露地野菜における機械施設作業の目的と効果	2
8	考查試験	1
合計		15

整理番号： 98

科目名： 露地野菜機械施設利用演習

科目群	専攻科目	必選区分	必須	単位	1	指導形態	演習
対象学年	1年	課程名	園芸農産課程	専攻名	露地野菜専攻		
実務経験のある教員による授業科目又は主として実践的教育から構成される授業科目の適否							適

担当講師		
講師名	実務経験の有無	実務経験内容
荒井俊介	有	普及指導員3年、農業総合試験場職員3年経験
則竹伸哉	有	普及指導員11年経験

授業の目的及び内容	露地野菜の機械化栽培における各種機械の利用技術、保守点検、整備方法を習得する。
授業の方法	農業機械担当職員による農業機械の取扱講義及び専攻実習における実践的な技能を習得する。
到達目標	露地野菜栽培に必要な基本的な操作方法を習得する。

区分	書名	著者・編集者名	出版社名			
教科書						
参考文献						
その他教材	農業機械取扱注意点資料	担い手研修科配布資料				
成績評価の方法・基準	理解度（レポート等による）100%で評価。					
試験の有無	定期試験	無	追試験	無	再試験	無

授業計画		
回数	内容	時間
1	管理機・耕うん機の使用法	4
2	刈払機の使用法	4
3	動力噴霧器の使用法	4
4	乗用管理機の利用技術	4
5	ロータリー耕起	4
6	イチゴ高設養液栽培システムの利用	4
7	うね立て作業方法	4
8	育苗施設の利用した野菜の育苗管理技術	2
合計		30

整理番号： 99

科目名： 露地野菜先端技術演習

科目群	専攻科目	必選区分	必須	単位	1	指導形態	演習
対象学年	2年	課程名	園芸農産課程	専攻名	露地野菜専攻		
実務経験のある教員による授業科目又は主として実践的教育から構成される授業科目の適否							適

担当講師		
講師名	実務経験の有無	実務経験内容
農業総合試験場職員	有	普及戦略部技術推進室職員
荒井俊介	有	普及指導員3年、農業総合試験場職員3年経験
則竹伸哉	有	普及指導員11年経験

授業の目的及び内容	露地野菜の機械化一貫体系技術及び省力、低コスト生産技術の習得を図る。また、県内各地域で実践されている先端技術を調査し、知識の向上を図る。
授業の方法	①指導職員による機械化一貫体系技術、低コスト生産技術の演習を実施する。 ②指導職員による先端技術を演習する。
到達目標	露地野菜栽培における最先端技術を習得する。

区分	書名	著者・編集者名	出版社名			
教科書						
参考文献						
その他教材	講師作成資料					
成績評価の方法・基準	理解度（レポート等による）100%で評価。					
試験の有無	定期試験	無	追試験	無	再試験	無

授業計画		
回数	内容	時間
1	東三河地域の先進農家事例調査及び試験研究等の取り組み	8
2	野菜の品種動向	8
3	愛知県の野菜生産の現状と課題	4
4	GAPの取り組みについて	4
5	尾張地域の先進農家事例調査及び試験研究等の取り組み	6
6		
7		
8		
合計		30

整理番号： 100

科目名： 露地野菜病虫害対策演習

科目群	専攻科目	必選区分	必須	単位	1	指導形態	演習
対象学年	2年	課程名	園芸農産課程	専攻名	露地野菜専攻		
実務経験のある教員による授業科目又は主として実践的教育から構成される授業科目の適否							適

担当講師		
講師名	実務経験の有無	実務経験内容
農業総合試験場職員	有	普及戦略部技術推進室職員
荒井俊介	有	普及指導員3年、農業総合試験場職員3年経験
則竹伸哉	有	普及指導員11年経験

授業の目的及び内容	露地野菜の難防除病虫害の総合防除技術の習得を図る。
授業の方法	①指導職員による難防除病虫害の総合防除技術の習得 ②指導職員による助言指導による顕微鏡操作の演習。
到達目標	露地野菜栽培の病虫害防除に関する基礎知識と効果的な防除方法を習得する。

区分	書名	著者・編集者名	出版社名			
教科書						
参考文献						
その他教材	講師作成資料					
成績評価の方法・基準	理解度（レポート等による）で100%評価。					
試験の有無	定期試験	有	追試験	有	再試験	有

授業計画		
回数	内容	時間
1	作付ローテーションによる病虫害被害軽減対策	4
2	野菜の病虫害と防除対策技術	4
3	薬剤ローテーションによる難防除病虫害の防除	4
4	スイートコーンの害虫防除と効果的な薬剤散布方法	4
5	ブロッコリー、キャベツの病虫害の防除と効果的な薬剤散布方法	4
6	ハクサイの病虫害の防除と効果的な薬剤散布方法	4
7	イチゴの病虫害の防除と効果的な薬剤散布方法	4
8	最近の病虫害の動向と防除対策	2
合計		30

整理番号： 101

科目名： 露地野菜加工演習

科目群	専攻科目	必選区分	必須	単位	1	指導形態	演習
対象学年	2年	課程名	園芸農産課程	専攻名	露地野菜専攻		
実務経験のある教員による授業科目又は主として実践的教育から構成される授業科目の適否							適

担当講師		
講師名	実務経験の有無	実務経験内容
井川 千春	有	学識経験者

授業の目的及び内容	露地野菜の食品的な栄養知識及び今日的な加工・調理法の習得を図る。
授業の方法	①講師による露地野菜の特性と栄養知識の講義。 ②野菜の加工・調理法の演習。
到達目標	野菜の加工特性を理解し、その栄養価及び加工法を習得する。

区分	書名	著者・編集者名	出版社名			
教科書						
参考文献						
その他教材	講師による資料					
成績評価の方法・基準	理解度（レポート等による）100%で評価。					
試験の有無	定期試験	無	追試験	無	再試験	無

授業計画		
回数	内容	時間
1	ジャガイモ、タマネギ、イチゴを主材料とした加工・調理方法	8
2	トウモロコシ、カボチャ、ニンジン、ズッキーニ、ピーマン等を主材料とした加工・調理方法	8
3	長ナス、キュウリ、カボチャ等を主材料とした加工・調理方法	7
4	ダイコン、キャベツ、ブロッコリー、サツマイモ等を主材料とした加工・調理方法	7
5		
6		
7		
8		
合計		30

整理番号： 102

科目名： 青果物流通論

科目群	専攻科目	必選区分	必須	単位	1	指導形態	講義
対象学年	2年	課程名	園芸農産課程	専攻名	露地野菜専攻		
実務経験のある教員による授業科目又は主として実践的教育から構成される授業科目の適否							適

担当講師		
講師名	実務経験の有無	実務経験内容
荒木昌彦	有	外部講師（愛知県中央青果㈱）

授業の目的及び内容	青果市場における青果物流通情勢を把握し、最近の有利な販売方法の知識の習得を図る。
授業の方法	外部講師による講義及び市場視察による青果物の情勢を把握する。
到達目標	露地野菜の流通情勢と有利な販売方法を理解する。

区分	書名	著者・編集者名	出版社名			
教科書						
参考文献						
その他教材						
成績評価の方法・基準	理解度（レポートによる）100%で評価。					
試験の有無	定期試験	無	追試験	無	再試験	無

授業計画		
回数	内容	時間
1	市場出荷における品質規格と表示、荷造り方法	3
2	野菜の流通機構と仕組み	3
3	市場流通の現状と問題点	3
4	野菜の消費動向と愛知県産野菜の課題	3
5	出荷調製における品質保持技術	3
6		
7		
8		
合計		15

整理番号： 103

科目名： 専攻実習（1年）

科目群	専攻科目	必選区分	必須	単位	10	指導形態	実習
対象学年	1年	課程名	園芸農産課程	専攻名	露地野菜専攻		
実務経験のある教員による授業科目又は主として実践的教育から構成される授業科目の適否							適

担当講師		
講師名	実務経験の有無	実務経験内容
荒井俊介	有	普及指導員3年、農業総合試験場職員3年経験
則竹伸哉	有	普及指導員11年経験

授業の目的及び内容	主要露地野菜の基本的な栽培技術を体得する。
授業の方法	指導職員による主要露地野菜の副教材による講義と実習。
到達目標	露地野菜栽培に必要な基本的な栽培知識と技能を習得する。

区分	書名	著者・編集者名	出版社名			
教科書	新版野菜栽培の基礎	池田英男・川城英夫	農山漁村文化協会			
参考文献						
その他教材	農業あいち別冊 温故知菜	愛知県各農業改良普及課野菜担当職員・普及指導部広域指導員	愛知農業普及協会			
成績評価の方法・基準	出席率40%、理解度（レポート等による）30%、受講態度30%で評価。					
試験の有無	定期試験	無	追試験	無	再試験	無

授業計画		
回数	内容	時間
1	春夏野菜の基本的栽培技術 ・スイートコーン、春ハクサイ、バレイショ、初夏穫りキャベツ	40
2	春夏野菜の基本的栽培技術 ・スイートコーン、夏秋ナス、オクラ、キュウリ、サトイモ	65
3	春夏野菜の基本的栽培技術 ・スイートコーン、初夏穫りキャベツ、夏秋ナス、キュウリ、	65
4	秋冬野菜の実践的栽培技術及びプロジェクト実習 ・キャベツ、ハクサイ、ブロッコリー、カリフラワー、ダイコン、ニンジン、イチゴ	55
5	秋冬野菜の実践的栽培技術及びプロジェクト実習 ・キャベツ、ハクサイ、ブロッコリー、カリフラワー、ダイコン、ニンジン、イチゴ	60
6	秋冬野菜の実践的栽培技術及びプロジェクト実習 ・キャベツ、ハクサイ、ブロッコリー、カリフラワー、ダイコン、ニンジン、イチゴ	60
7	春夏野菜の実践的栽培技術及びプロジェクト実習 ・スイートコーン、キャベツ、ブロッコリー、ダイコン、ニンジン、イチゴ	60
8	春夏野菜の実践的栽培技術及びプロジェクト実習 ・スイートコーン、ブロッコリー、ハクサイ、イチゴ、ネギ	45
合計		450

整理番号： 104

科目名： 専攻実習（2年）

科目群	専攻科目	必選区分	必須	単位	12	指導形態	実習
対象学年	2年	課程名	園芸農産課程	専攻名	露地野菜専攻		
実務経験のある教員による授業科目又は主として実践的教育から構成される授業科目の適否							適

担当講師		
講師名	実務経験の有無	実務経験内容
荒井俊介	有	普及指導員3年、農業総合試験場職員3年経験
則竹伸哉	有	普及指導員11年経験

授業の目的及び内容	主要露地野菜の栽培技術と経営手法を体得する。
授業の方法	指導職員による講義及び現場実習を行う。
到達目標	露地野菜栽培に必要な実践的スキルを習得する。

区分	書名	著者・編集者名	出版社名			
教科書	新版野菜栽培の基礎	池田英男・川城英夫	農山漁村文化協会			
参考文献						
その他教材	農業あいち別冊 温故知菜	愛知県各農業改良普及課野菜担当職員・普及指導部広域指導員	愛知農業普及協会			
成績評価の方法・基準	出席率40%、理解度（レポート等による）30%、受講態度30%で評価。					
試験の有無	定期試験	無	追試験	無	再試験	無

授業計画		
回数	内容	時間
1	実践的な栽培技術及びプロジェクト実習 ・スイートコーン、春ハクサイ、バレイショ、初夏穫りキャベツ	50
2	実践的な栽培技術及びプロジェクト実習 ・スイートコーン、夏秋ナス、オクラ、キュウリ、サトイモ	65
3	実践的な栽培技術及びプロジェクト実習 ・スイートコーン、初夏穫りキャベツ、夏秋ナス、キュウリ、	70
4	実践的な栽培技術及びプロジェクト実習 ・スイートコーン、初夏穫りキャベツ、夏秋ナス、オクラ、キュウリ	45
5	実践的な栽培技術及びプロジェクト実習 ・キャベツ、ハクサイ、ブロッコリー、カリフラワー、ダイコン、ニンジン、イチゴ	70
6	実践的な栽培技術及びプロジェクト実習 ・キャベツ、ハクサイ、ブロッコリー、カリフラワー、ダイコン、ニンジン、イチゴ	80
7	実践的な栽培技術及びプロジェクト実習 ・キャベツ、ハクサイ、ブロッコリー、カリフラワー、ダイコン、ニンジン、イチゴ	80
8	実践的な栽培技術及びプロジェクト実習 ・キャベツ、ハクサイ、ブロッコリー、カリフラワー、ダイコン、ニンジン、イチゴ	80
合計		540